

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あうりんご谷山		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 6日		～ R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	R8年 1月 6日		～ R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種でお子様の発達段階を評価し、情報交換を行い支援の提供を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語、行動、運動・感覚面などそれぞれの職種で評価し、情報共有を行い支援プログラムを考えている。</li> <li>・日々のミーティング、支援記録などを活用し継続した支援を行っている。</li> <li>・事業所内で各専門職の研修を開催している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続した支援、支援の質向上に努める為に、事業所内での定期的な研修を行う。</li> <li>・外部の研修への積極的な参加を継続して行い、研修後の周知研修を行っていく。</li> </ul>
2	小集団の活動にてこどもの成長発達に合わせた支援ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの発達段階や特性に合わせてSSTを考え、集団活動での困りをロールプレイし日常生活へ反映できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の家庭や学校での様子をお聞きし、こどもの困り、発達段階に合わせた支援を継続して行っていく。</li> </ul>
3	保育所等訪問支援サービスを行っており、保護者、園、各関係機関と連携が行える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園、相談員、併用事業所などから要望がある際は、随時見学を受け入れている。</li> <li>・保育所等訪問での様子を共有し支援に取り入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も保育所等訪問の様子を情報共有を行い、お子様の発達段階に合わせた支援を行い園などでの集団生活・家庭へ反映できるよう努める。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族同士の交流や家族の参加する研修の機会がない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望がないため開催の機会がなかった。</li> <li>・会場や駐車場の確保が難しい。</li> <li>・個別での家族支援は行っているが、集団で支援する機会はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望があった際に保護者会など検討していく。</li> <li>・書籍の貸し出しにて個別に家族支援を行っていく。</li> </ul>
2	地域との交流が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の店に行き交流する機会はあるが、事業所の立地や設備上地域の方を招待することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外活動を継続して地域との交流を図っていく。</li> <li>・地域に貢献する活動を検討していく。</li> </ul>
3	定期的な発信が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別でのお知らせが主であり、全体への周知が少ない。</li> <li>・個人情報保護の観点から全体への周知の難しさあり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望があった際には、発信の仕方を検討していく。</li> </ul>